

身高 Dream Project

キャリアセミナー

12月15日(水)にキャリアセミナーが開催されました。連携型中高一貫教育事業の一つである本事業は、本校の1年次生が「産業社会と人間」・「総合的な探究の時間」の授業での取り組みの成果を身延中学校・南部中学校の2年生に向けて発表するもので、今回で4回目の開催となります。今まで取り組んできたことについてさらに深く考えるとともに、プレゼンテーション能力を向上させる機会となっております。



キャリアセミナーの取り組みを通して
私たちは〇〇が
できるようになりました！



インタビュー先に自分達で電話してアポを取ったり実際にインタビューしたりすることで、班の人と協力し自主的に課題に取り組むことができました。

インタビューしたことから前よりその職業の内容や身近さを理解し、それをどう将来に繋げていくか、今出来ることは何か考えるようになりました。

様々な課題について色々な角度から調べたりすることが出来た。この調べたことを自分の将来に生かしていきたいと思うようになりました。

問題がある部分に対して解決方法を提案すること、自分の体験から感じたことを言葉で伝えることができました。

人前で発表したりすることの楽しさを感じ、コミュニケーション能力を向上させることができました。

キャリアセミナーを通して
〇〇を学ぶことが
できました！



あまり将来のことを考えたことがなかったけど、色々な職業を知ることによって選択肢が広がりとても良かったです。

高校生とコミュニケーションをとりながら、仕事の大切さや、今後どのように生活していくかなど、とても深く考えることができました。

仕事の大切さや、その仕事に就くための資格などの大切さを学ぶことができ、自分の将来について考えることができました。

様々な仕事のやりがいや大切さ、楽しさを知ることができました。

SHINKO 身高VIEW

Vol.19
2022 January
MINOBU
HIGH SCHOOL

実りの秋特集号



歴史を感じ
小さな声に耳をすます秋



演劇部 山梨県大会にて演技賞W受賞!!

第42回山梨県高等学校芸術文化祭演劇部門(第43回山梨県大会)において、芸術文化祭賞・最優秀賞・演技賞(2名)を受賞しました。さらに、第57回関東高等学校演劇研究大会-東京大会-(東京都中野区なかのZERO大ホール)への推薦をいただきました。

演技賞受賞
3年C組 佐野未侑(身延中学校出身)
発表を聞いたときは驚きが大きかったです。昨年度に引き続き、2年連続の演技賞を目指していたので喜びもひとしおです。演技賞を頂けたこと、また支えてくれた方々に感謝し、これからも演技力を磨いていきたいです。

演技賞受賞
2年B組 幡野琴音(身延中学校出身)
関東大会出場が決まりうれし泣きをしていた涙がピタッと止まるほど驚きました。私を受賞できると思っていなかったの、予想外のことに信じられない気持ちもありましたが、やはり嬉しく、今後の活動に繋がってほしいです。



10月29日(金)

強歩(ウォーキング)大会



10月29日(金)に秋晴れのもと、強歩大会が実施されました。新型コロナウイルスの影響のため、2年ぶりの開催となりましたが、保護者の方をはじめ多くの方々のご協力をいただき、無事に終えることができました。

今年度の開催にあたり、新型コロナウイルス感染予防対策の観点から実施時間などの内容を検討するとともに、大会の実施目的についても見直しを行いました。従来の早川町経由コース(28km)から身延町コース(6.4km)に大幅に変更し、秋の身延路の自然や久遠寺、門前町の風情に触れながら、地元の文化や歴史に親しむことも目的に盛り込みました。この目的を達成するためにいわゆる強歩ではなく、自己のペースで歩く「ウォーキング大会」の

形式での実施としました。

大会を終え、生徒や保護者の方からは、新型コロナウイルスの影響により学校行事の実施が難しい中で、感染防止対策を講じながら強歩大会が実施されたことに感謝や喜びの声が多く寄せられました。また、身延の秋の景色や歴史ある街並み、地域の方々の温かさに触れ、感動を覚えた生徒も多くいます。新型コロナウイルスの影響でまだまだ生活しづらい日々が続いていますが、自然をゆっくり感じることで心のゆとりが生まれるとともに身延の文化に触れ、地域の素晴らしさを感じた1日となりました。

2年ぶりの強歩大会 気合い入ってます!

坂道はきつけれど 自分への挑戦!

地域のみなさんの あたたかい応援がうれしい

意外と知らない 身延のいいところ発見!!

たまには休憩して おいしい空気も感じよう!

身延町内 6.4kmコース

強歩大会実施中 身延高校

10月7日(木)→10月13日(水)

Life Museum 2021



10月7日(木)から10月13日(水)まで、ライフミュージアム2021を開催しました。今年度のテーマは「自然との共生」です。木版画家山福朱実氏をお迎えし、石牟礼道子作福音館文庫「水はみどろの宮」挿絵原画展とユージン・スミス、アイリーン・美緒子・スミス共著 写真集『MINAMATA』の展示、星つむぎの村代表高橋真理子氏による福祉講演会を行いました。

山福朱実氏の木版画は見る人どこか懐かしさや叙情性を感じさせるような魅力あふれる作品でした。オンラインでのトークも行われ、創作活動について様々なお話を伺いました。また、石牟礼道子作「水はみどろの宮」は当時絶版となっており、山福氏ご自身の木版画の挿絵を制作し本にしたいと、自ら様々な出版社を回られたとのことでした。絵本の出版で有名な福音館書店で出版されることになるまで、8年もの歳月がかかったそうです。大変思い入れのある挿絵原画をはじめ、木版画作品を50点ほどお借りし、本校玄関ロビーに展示しました。

写真集『MINAMATA』展示は、アイリーンアーカイブスのご厚意のもと、スライドショーでの展示が実現しました。ユージン・スミス氏、アイリーン・美緒子・スミス氏は石牟礼道子氏と関わりがあり、写真集冒頭にも石牟礼氏の寄稿が載せられています。こちらの歴史的なフォトエッセイは、人間の尊厳や、人間の業の深さ、喜びや慈しみなど、言葉では簡単に言い表すことが出来ないような思いを感じさせるものでした。生徒たちは、水俣病センター相思社からも展示パネルをお借りし、公害問題の背景や、医学的

な観点からの学習を深めました。

今年度の福祉講演会はオンライン形式で行われました。高橋真理子氏の『星つむぎの村』の活動に至る経緯や、活動の詳細をうかがいました。特に病院に出張プラネタリウムを行う活動については、生徒たちも興味深く聞いていました。演劇部の公演や高校生や中学生の作品や授業成果物、地域の方々の作品の展示を行い、貴重な学びの場となりました。

「水はみどろの宮」 石牟礼道子作 山福朱実挿絵
七つになるお葉と湖の底を浄める千年狐ごんの守との物語。「遠い原初の呼び声に耳をすまし、未来にむけてそのメッセージを送るために」子どもたちに向けて記されている。

写真集『MINAMATA』
ユージン・スミス氏、アイリーン・美緒子・スミス氏が、患者さんや水俣の方々に寄り添い、真摯に向き合い撮影した写真集は、世界的なベストセラーとなった。

高校生

今回のライフミュージアムはよい作品ばかりでした。一人ひとりの作品に、一つひとつ命があるように見えて、表現力の強さを感じました。

水俣病についての展示がすごく印象的でした。私たちが産まれる前に流行した病気だけれど、今も苦しんでいる人が沢山いると考えると、心が痛くなった。未来を作るのは私たち子供なのでこのような悲劇を起こさぬよう環境に配慮した社会づくりをしたい。

水俣病について画像もあって文と一緒に見ると当時の大変さやつらさが分かった。今の私からでは水俣病とはあんまり分からなかったし、どれだけ怖い病気なのかも曖昧だったけど、今回のライフミュージアムを通して怖さや当時の様子が少しでも分かったので良かった。

中学生

私たちの作品も展示してくれてうれしかったです!様々な作品があって、見ごたえがありました。次に展示会があったら、また見に来たいと思います。

知らなかったことをたくさん知ることができた。まるで美術館にいるみたいだった。

どの作品からもそれぞれの思いが伝わってきました。版画がめちゃくちゃ細かくてびっくりしました。水俣病についても勉強になったし、本当に楽しかったです。

たくさんの作品や水俣について知る事ができました。水俣について詳しく知るのは初めてでした。どんな思いでその人達が生活しているのか考えたいです。

ライフミュージアム